

「薬剤性過敏症症候群の遺伝子多型解析」について

研究責任者 後藤雄一(メディカル・ゲノムセンター長)

代表機関研究責任者 薙田 泰誠
所属 理化学研究所統合生命医科学研究センター
ファーマコゲノミクス研究グループ

概要 (目的・利用方法を含む)

私たちは、薬疹関連遺伝子の研究を行っています。薬疹は、薬によって起こる副作用であり、皮膚の広い範囲が赤くなる、高熱 (38℃以上)、のどの痛み、目の充血、くちびるのただれなどの症状が見られます。重症の薬疹としては、Stevens-Johnson 症候群 (SJS)、中毒性表皮壊死症 (TEN)、薬剤性過敏症症候群 (DIHS) などが知られていますが、これらの薬疹では、皮膚のみが障害されるだけではなく、しばしば、肝臓などの臓器障害を伴って重症化し、眼・肺などに後遺症が残ることがあります。

この研究では、薬疹という副作用が、生まれながらの体質と関係するかどうかを、血液などから取り出した遺伝子を調べることによって明らかにします。その成果をもとに、薬を服用する前に、薬疹のリスクを予測することにより、より安全で適切な薬物治療ができるようにすることを目指しています。

1. 研究の対象となる方

NCNP バイオバンクに登録された方で、薬物(抗てんかん薬等)で症状が出現した方々

2. 研究に用いる試料・情報の種類

DNA および収集された臨床情報

3. 解析機関への試料・情報の提供

本研究では、以下の研究課題において、共同研究機関で文書による同意の下、収集された試料・情報が、匿名化された上で理化学研究所に提供されます。個人別または集団としての結果が NCNP バイオバンクに返却されます。

4. 研究期間

2020年5月(予定) ~ 2023年3月31日

5. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方が研究参加を拒否される場合は、研究対象から取り除きますので、以下の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、お申し出をいただいた時点で、既に解析が進んでいる場合や論文化されている場合には、研究対象から取り除くことができない場合のあることをご了承ください。

6. お問い合わせ先

国立精神・神経医療医療研究センター メディカル・ゲノムセンター
後藤雄一 電話:042-346-3524、E-mail: goto @ ncn.go.jp

7. 苦情窓口

国立精神・神経医療医療研究センター 倫理委員会事務局

E-mail: ml_rinrijimu @ ncnp.go.jp